

ドキュメンタリー映画 上映会

# オキナワへ いこう

(2018年)

写真家大西暢夫さんは、17年間、全国各地の精神科病院を訪ね、撮影を続けています。この映画は大阪の浅香山病院に長期入院している患者さんが、病院のスタッフや支援者と一緒に沖縄旅行を計画することから始まるドキュメンタリーです。

「精神科」「患者」という言葉をわすれてしまうくらい、笑って泣けるエネルギーのある作品です。

上映後、大西監督のトークショーを行います。

## ■大西暢夫（おおにし・のぶお）

写真家、映画監督。1968年東京生まれ、岐阜県揖斐郡池田町育ち。写真家で、映画監督の本橋成一氏に師事。アシスタントをするあいまに、ダムに沈む岐阜県徳山村の取材をはじめ。2001年から精神科病院に長期入院する人の撮影をスタート。それをきっかけに、日本国内におけるアール・ブリュットの作品とその作者の取材を多数手がけるようになる。震災直後に被災地に入り、いまま東日本大震災の取材も続けている。

# 10/6 (土)

上映会 13:00～15:00

トークショー 15:30～16:30 終了予定

ヤマカまなびパーク5階学習室501にて

【参加料】500円（当日会場にてお支払いください）

【主催】多治見文庫連絡協議会

（今井☎23-7792 松田☎29-2531 山口☎27-8208 丸井☎24-2068）

多治見市図書館 ☎22-1047 ※お席に限りがありますので必ず事前にお申込みください



多治見文庫連絡会ではこれまでに大西暢夫監督作品「家族の軌跡～3.11の記憶から」「水になった村」を上映してきました。3年目となる今年は、ドキュメンタリー映画「オキナワへいこう」上映会を企画しました。